

第2期広島県スポーツ推進計画（素案）に係る県民意見（パブリックコメント）  
とその対応について

1 意見の件数

8件（5人）

提出方法：郵送3人，電子メール2人

2 県民意見（パブリックコメント）の内容と対応について

【総論】

①取組への期待

| 意見の内容  | 対応 | 該当頁 |
|--|----|-----|
| 県内各地でスポーツを活用した様々な取組が行われている中で，こうした計画を作成して取組を行っていくことは素晴らしいことだと思う。今後の取組に期待している。 | —  | —   |

②民間と行政の役割

| 意見の内容   | 対応   | 該当頁                  |
|---|--|----------------------|
| スポーツ推進計画全体に行政の役割が大き過ぎる。民間と行政の住み分けを明確にして，県民が自主的に動ける体制，雰囲気の創造を望む。   | スポーツ推進に係る知見やノウハウ，施設等の資源を有する民間の役割は大きいと考えており，計画の実施に当たっては，民間と行政がお互いの強みを発揮できるよう役割分担を図りつつ，連携して推進していく。   | —                    |
| スポーツ観覧をした人の割合が全国1位なのはプロスポーツ，企業スポーツが盛んな土地柄があるからに他ならず，見て楽しい施設，強いチームに育てている民間の力である。するスポーツも“楽しくする”を前面に出して欲しい。<br>身近な公共スポーツ施設が利用者に目を向けているか，利用者を増やそうとしているか，行政がメスを入れるのはその領域ではないか。 | トップスポーツチームと連携したスポーツ教室の開催など，民間の知見やノウハウ等を活用しながら，県民に，体を動かす楽しみや喜びを知ってもらう機会の創出を図る。<br>公共スポーツ施設の利用については，利用環境やサービスの一層の向上が図られるよう，県民の意見を聞きながら，改善を行っていく。       | 27 頁<br>34 頁<br>36 頁 |
| 競技大会誘致はスポーツ推進には大きな原動力になる為，これは行政主導で積極的にしてほしい。しかし，県民のスポーツ参加は，楽しく気楽に，の目線が大事。住民（県民）の力を活用してほしい。  | 競技大会誘致は地域に与える社会的・経済的影響が大きく，地域の様々な主体が有する知見やノウハウ等の資源を有効に活用しながら取り組む必要があるため，官民で連携して取り組む。<br>県民のスポーツ参加については，県民が主体的に取り組む中で，体を動かす楽しみや喜びを知ってもらえるよう，機会の創出を図る。 | 19 頁<br>34 頁         |

【政策目標Ⅰ（スポーツを通じた地域・経済の活性化）関連】

アーバンスポーツの聖地

| 意見の内容  | 対応   | 該当頁  |
|--|--|------|
| <p>市民はアーバンスポーツの聖地になることなど望んでいない。市民球場跡地はそのような聖地とすると、いつだれが決めたのか。</p> <p>いつの日か市民球場跡地は、空き地ではなく何かの施設になるのだろうかから、聖地は消えることになる。アカデミーまで作って聖地が消えるような計画はおかしい。</p> | <p>アーバンスポーツの聖地とは、必ずしも場所を特定するものではなく、広島がアーバンスポーツの中心地として、国内外に浸透した状態を指しているものである。</p> <p>今後、広島をアーバンスポーツの聖地として浸透させ、地域の活性化につなげていくためには、県民の理解と支持を得ながら進めていく必要があることから、今後、この計画の推進に当たっては、関係団体等とも連携し、丁寧な情報提供を心掛けながら、取り組んでいく。</p> | 18 頁 |

【政策目標Ⅱ（スポーツを通じた健康長寿の達成とスポーツ参画人口の拡大）関連】

①女性のスポーツ実施

| 意見の内容  | 対応   | 該当頁  |
|--|--|------|
| <p>日常に運動をさりげなく採り入れながら、職場や家庭でおしゃれにかつ力強く活躍している女性たちのライフスタイルに、女性は憧れや関心を抱く。県内で活躍するそうした女性を紹介する中で、彼女たちが取り入れている運動とその効果を示せば、女性のやる気を後押しできるのではないかな。</p> | <p>女性の中で人気のあるヨガやピラティス等をきっかけとした運動の促進や、日常に運動を採り入れながら活躍している女性をロールモデルとした啓発を図るなど、女性のやる気を後押しできるような取組を検討していく。</p> | 28 頁 |

②子供が身近にスポーツを楽しめる場・施設の拡大・充実

| 意見の内容   | 対応  | 該当頁          |
|---|---|--------------|
| <p>子供の通学する小学校では、授業終了後、速やかに下校するよう学校から指導されているが、月2、3回でも放課後に子供たちが校庭で思い切り遊べる機会があると良い。鬼ごっこや縄跳びなど毎回テーマを学校が提示しても良いし、保護者が交代で見守りをして良い。</p> <p>防犯上の不安なしに子供を遊ばせる場所が少なくなっている中、校庭という既存の魅力的な施設を有効に活用してほしい。</p> | <p>子供たちが健やかに成長していくためには、身近なスポーツ活動の場として、学校体育施設の有効活用を図っていくことは、重要であると考えている。</p> <p>このため、学校の使用状況や安全確保対策に配慮しながら、学校体育施設の開放を更に推進していくこととしている。</p> <p>また、市町では、地域住民等の参画を得て、子供たちに学習やスポーツ・文化芸術活動などの機会を提供する「放課後子供教室」の開設に取り組んでいる。</p> <p>県としては、こうした市町の取組を積極的に支援し、学校と地域が連携・協働する体制を構築することにより、社会全体で学校や子供たちの活動を支える環境づくりを進めていく。</p> | 37 頁<br>31 頁 |

【政策目標Ⅲ（競技力の向上）関連】

スケートリンクの整備

| 意見の内容   | 対応  | 該当頁         |
|---|---|-------------|
| <p>フィギュアスケートが一年中できるスケートリンクを一刻も早く作ってほしい。町田樹選手も広島にリンクがあったら引退しないで頑張ったかもしれない。今、とても人気があって、やりたい子供もたくさんいる。</p> | <p>競技力を向上させるためには、それぞれの競技の練習の場となる施設が必要であると認識している。</p> <p>今後、競技力向上に必要となる施設の整備については、事業の主体となりうる関係団体や競技団体等と連携しながら検討を進めていく。</p> | <p>48 頁</p> |